

2・23

34th

サタデープログラムニュース

第3部(14:00~15:30) 講座番号 37 番

DJ って何だろう?

~誰も知らない DJ の話~

講師:kors k 氏(コンポーター・DJ)



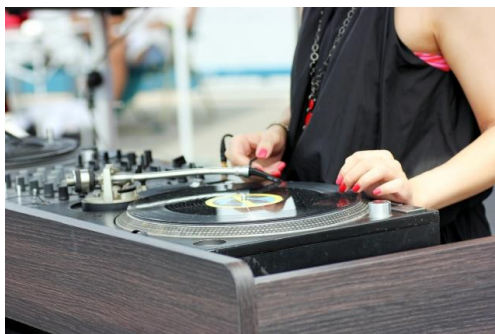
EXITTUNES Dance Production(以下 EDP)所属のコンポーターおよびプロデューサー。beatmaniaIIDX 4th style に収録された「clione」を始めとした様々な楽曲が音楽ゲームに収録されている。また、DJ としても幅広く活動しており、国内はもちろん海外でも公演を重ね、高い評価を得ている。代表曲は「smoooch・▽・」、「gigadelic」(teranoid 名義)等。

● そもそも DJ ってなに?

DJ と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。クラブハウスの中で華麗にターンテーブルを回し、お客さんを盛り上げる…そういったイメージを持っているかと思います。しかし、結局 DJ は何をしているのかよくわかっていない人も多いはず。では、そもそも DJ とは何でしょうか。

一口に DJ といっても様々なスタイルがあり、ヒップホップ等で活躍するバック DJ、ラジオ番組で曲をかけ、曲と曲の間にトークを行うラジオ DJ、クラブなどのお店やイベントなどで曲をかけるクラブ DJ などその種類は多岐に渡ります。kors k さんは主にクラブ DJ で活躍しています。

DJ が使用する機材はターンテーブル・ヘッドフォン・ミキサー・スピーカーの4つを主



に使います。この4つの機材が無いとDJはできないと言っても過言ではありません。DJは次から次へと曲をかけていくので、曲を再生している裏では常に次の曲の準備をする必要があります。

ですから、これらの機材を使って準備していくのです。ターンテーブルで流す曲のテンポを調整して曲を自然に繋げられるようにし、そこから送られてきた音をミキサーで混ぜ、音量を調整したり音の切り替え・加工を行ったりをします。ヘッドフォンは次の曲のテンポを調整するときを使用します。片耳だけでよくかけているのは、片方はクラブで流れている曲を聴き、もう片方で次の曲の準備を行うためです。もちろん、ターンテーブルなどからは音を出すことができないので、スピーカーも必要となってきます。

もしDJを実際に見る機会があれば、是非このことを頭に入れて見てみてください。何か新しい発見があるかもしれません。

● kors kさんにとってのDJとは

kors kさんはDJの場を、「刺激をもらえる場所」だとおっしゃっていました。kors kさんは今まで数多くのクラブイベントでDJを行なわれてきましたが、どんなに小さいイベントであろうと最初の音を出すまではとても緊張してしまうそうです。

そのイベントで失敗しても成功しても、その結果が全て自分に返ってくるからこそその刺激があるそうです。また、新しい音や知らないDJの方、DJだけではなくお客さんやVJ(DJの音やフロアの雰囲気に合わせて映像を流す人)との新しい出会いもあり、そういった点でも刺激をもらえるのではないかと思います。

● 当日は…

当日は、kors kさんがどのように音楽に携わり、どういう精神で動いてきたか、そしてその中でのDJとしての活動についてお話ししていただきます。また、DJプレイも予定しております。音ゲーマーの方やDJに興味を持っている方はもちろん、初めてkors kさんを知った方も大歓迎です。

皆様のご来場をお待ちしております。



kors kさんのTwitterはこちら→@S2TB_korsk

kors kさんの所属するEDPのサイトはこちら→<https://edp-edp.com>

担当:安江(J3C) 石見(J3E)